

えております 宜しくお願ひ致しま
す。

令和七年も菊石同窓会の皆様のご活躍が有られたとお聞きしております、その中でも、浅井奏音氏がローアング競技（ボート競技）において全国大会で優勝をはたされ、また、在校生においても日頃の地道な努力により、「第一回みどり戦略学生チャレンジ全国大会」「全国高等学校総合体育

たことか 突如身の回りの環境が急
変する事態が今後も発生すると予想
されます。同窓会会員の皆さんにお
かれましても、その様な事態にも冷
静な判断で乗り越え、猿投農林高校
で培つたその感覚を生かして益々の
発展をご期待致します。

おわりに、会員皆様のご健康を祈
念致しましてあいさつとさせていた
だきます。

本校では本年の百二十周年記念事業の開催に向けて学校と同窓会により、開催準備を進めております。是非とも多くの会員皆さんの参加を頂き、百二十周年をお祝いしたいと考

私達の母校である猿投農林高等学校は一九〇六年（明治三九年）五月に設立され、百十九年の歴史と伝統があり、卒業生二万二百人を有しております。



あいさつ
菊石同窓会長

A decorative vertical panel featuring stylized Japanese characters 菊 (Kiku) at the top and 石 (Ishi) at the bottom. Between the characters is a stylized sun or flower motif above a mountain range, all set against a background of horizontal hatching.

発行所 豊田市井上町 12-179
愛知県立猿投農林高校内
菊石同窓会
T E L 〈0565〉 45-0621・0622

同窓会員各位のご発展と
ご多幸をお祈りいたします。

現在の本校におきましても、皆様が築かれた伝統を受け継ぎながら、時代の要請に応じた教育の充実に努めております。スマート農業や環境保全、食の安全といった現代的課題に対応する探究活動や実習を展開し、生徒たちは日々、真摯に学びに取り組んでおります。また、地域との連携を深めることで、実社会に即した教育を実現し、地元産業の発展にも寄与できる人材の育成を目指しております。

このような教育の根底にあるのは、「未来を見据える力」です。アラン・

母校とは、単なる学びの場にとどまらず、人格形成の基盤を築く場所であり、人生の節目ににおいて立ち返ることのできる「心の拠り所」でもあります。若き日に流した汗、共に学び合った日々、自然と向き合いながら得た経験の一つひとつが、皆様の現在を形づくる礎となっていることに存じます。

猿投農林高等學校同窓會の皆様に
おかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対し、格別の御理解と御支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本校は創立以来、地域に根ざした農業教育を通じて、実践力と人間力を兼ね備えた有為な人材を数多く輩出してまいりました。皆様が在学中に培われた知識や技術、そして仲間に培われた絆は、卒業後の人生においても確かな支えとなり、それぞれの分野で御活躍されていることと拝察いたします。

猿投農林高等學校長

さらに、環境デザイン科の生徒は「第二十回全国若年者ものづくり競技会（香川大会）」において敢闘賞を受賞し、「地方創成☆政策アイディアコンテスト二〇二五」では地方創生担当大臣賞を受賞するなど、全国規模の舞台でも輝かしい成果を挙げております。

生活科学科においても、地域企業との連携を通じて、弁当のレシピ提案や食育活動を展開するなど、地域貢献に積極的に取り組んでおります。進路においても、国公立大学への進学や地元企業への就職など、生徒

見られます。農業クラブ活動においては、プロジェクト発表のⅠ類からⅢ類すべてにおいて、愛知県代表として東海ブロック大会に出場し、Ⅲ類では全国大会（西関東大会）への出場を果たしました。また、農業鑑定競技会にも各学科から生徒が参加し、優秀賞を獲得しております。

学校総合体育大会において男子総合2位、女子総合優勝の成績を収め、全国高等学校総合体育大会（広島県）に出場いたしました。また、愛知県高等学校新人体育大会ではソフトテニス部が、出場、陸上部が入賞を果たしました。写真部も愛知県高等学校文化連盟支部写真展にて奨励賞を受賞するなど、文化面でも活躍が

ケイの言葉に「未来を予測する最良の方法は、それを創ることだ」とあります。これが「未来をただ待つのではなく、自らの手で切り拓いていく」という強い意志を示しています。まさに、今の猿投農林高校の教育が目指す姿そのものです。在校生の近況を御報告いたします。

たちはそれぞれの夢の実現に向けて、着実に歩みを進めています。このような教育活動の推進にあたる、同窓会の皆様の存在は、在校生にとって大きな励みとなつております。社会の第一線で御活躍される先輩方の姿は、後輩たちにとって将来の目標であり、希望の象徴でもあります。ある生徒が「自分も先輩のように、地域に貢献できる人になりたい」と語ってくれたことがあります。その言葉に、母校の精神が確かに受け継がれていることを感じたのを覚えております。

結びに、菊石同窓会の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、猿投農林高等学校が今後も地域とともに歩み続け、次代を担う若者たちの成長を支える場であり続けられるよう、教職員一同、引き続き尽力してまいります。今後とも変わらぬ御支援と御厚情を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

卒業生大活躍

への餓くなき挑戦
大岡 隼士さん

人岡隼士さん
(平成三十年度農業科卒業)

私は猿投農林高校農業科を卒業後、豊田南インター周辺の高岡地区にある、農業生産法人株式会社「中甲」に就職しました。栽培面積は約五百ヘクタールほどで、主に米・麦・大豆・飼料用トウモロコシ・キャベツを栽培しています。

この仕事を選んだきっかけは、いくつか理由があります。一つ目は祖父が兼業農家で一ヘクタールほど水稻を栽培しており、その手伝いをしてから、幼少期より農業に

校の授業として三年間農業実習を行なうなかで、農機具の整備や修理を担当する仕事をしてみたいと強く思うようになつたことです。三つ目は、高校在学中に参加した農業機械宿泊実習で、大型のトラクタや施工機械を操作する体験を通じて、大型の機械に乗つて圃場管理をしてみたいと考えるようになつたからです。そこで将来の選択肢として、その思いを叶えることのできそうな今の仕事を選びました。十二月現在、入社してから六年と八か月が経過しました。「中甲」では、作物ごとに担当が割り当てられます。私は入社二年目から担当を割り当てて頂きましたが、現在まで、稻担当一年間、大豆担当四年間の栽培を任せてもらっています。初めて担当を持ったのが大豆でしたが、これまで大豆を栽培した経験がなく、また、知識も無かつたことから、とても苦労をした一年でした。現在も大豆担当ですが、この四年間の経験をもとに必要な知識もついてきて、新しい栽培方法や新しい資材を使用してみるなど、日々チャレンジをしています。担当をもつてから四年目の時に一年間ではありますましたが、稻栽培も経験しました。この時には、一つ下の後輩と共に仕事をしていました。実家で稻を作つているとはいえ、作業する規模や方法が全く異なることから、苦労の連続でした。自分のことだけでも精一杯なのに、後輩に指導しながら作業の段取りをするなど、頭がパンクしそうな時もありました。しかし、その経験のおかげで余裕をもつて作業の段取りをしたり、指導の仕方を自分なりに確立したりと、かなりやりがいを感じられる様になりました。もちろん失敗も多くしてきました

私は高校在学中、農業科の畜産研修班に所属しており、日々、牛や豚、鶏などの動物管理実習を通じて、生き物を育てるとの大切さを学んできました。そして、私は現在、豊田市の東部にある、豊田市交通安全学習センターで働いています。学習センターでは、「楽しさながら交通安全を学ぶ」をテーマに、ミニSLやゴーカート、自転車の貸し出しなどを行っている施設です。入場料が無料ということもあります。土日にはたくさんの子どもたちが来てくれます。踏切が好きで、遮断機の開閉の真似をする子、標識を

卒業生大活躍

山田 捺希さん

田捺希さん

大切さを伝える立場になつたことで、交通安全は、子どもから大人まで誰にとつても身近で欠かせないテーマであると強く感じるようになります。普段の生活の中で何気なく守っているルールも、改めて意識することで、交通事故防止につながるのだよと実感しています。これからも「交通事故ゼロ」を目標に、学習センターでの活動や講習を通して交通安全の大切さを一人でも多くの方に伝えていきたいと思います。また、みんなが安心して暮らせる街づくりに少しでも役立てるよう、日々の業務を一生懸命頑張ります。

が、失敗を恐れては何も身に付きません。チャレンジをして失敗をして、その理由を考えていくなから改善をしていくこと、それが今後仕事をしていく上で、大切だと思います。

学生の時にこそ、たくさんチャレンジをして、失敗をして、たくさん経験を積んでほしいなと思います。ここ3年間、御校の加島先生からお話をあり、縁あって農業機械の授業での外部講師として御校に携わっています。御校にある農業機械を使い、トラクタの説明や作業機の脱着の実演、農業機械の有難さやその反対の危険などころなどを、私の経験を元にお話しをさせて頂いています。

生徒の皆さんには、農業機械の面白さや有難さ、そして何より安全に対する思いが伝わってもらえればと思っています。

じーっと見つめる子、「また来るね」と笑顔で手を振ってくれる子など、子どもたちの姿に日々癒され、元気をもらっています。こうした一般業務に加えて、学習センターでは交通安全の講習も行っています。豊田市の全園・全小学校（一・四年生）・高齢者クラブを対象に、各年代に合わせた交通安全教育を実施しています。さらに、中学校や高校を対象に出張講習も行つており、母校である猿投農林高校からも依頼がきたこともあります。なかつたので、当日は少し緊張しましたが、在学中にお世話になつた先生方にお会いすることができ、とても嬉しかったことを覚えていました。講習では「自転車の安全利用」について講義を行いました。時々頷きながら、真剣な表情で話を聞いてくれる姿を見て、自転車のルール遵守について理解を深めもらえたと感じています。私自身、学習センターで働くまでは、交通安全について深く意識したことはありませんでした。しかし、日々の講習を通して安全の大切さを伝える立場になつたことで、交通安全隐患は、子どもから大人まで誰にとつても身近で欠かせないテーマであると強く感じるようになりました。普段の生活の中で何気なく守っているルールも、改めて意識することで、交通事故防止につながるのだと実感しています。これからも「交通事故ゼロ」を目標に、学習センターでの活動や講習を通して交通安全の大切さを一人でも多くの方に伝えていきたいと思います。また、みんなが安心して暮らせる街づくりに少しでも役立てるよう、日々の業務を一生懸命頑張りたいと思います。

令和七年 菊石同窓会決算書

収入合計	1,234,276 円
支出合計	926,339 円
差引残高	307,937 円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	収入済額	比較増減額	摘要
繰越金	328,955	328,955	-	
入会金	905,000	905,000	-	185人×五千円
雑収入	45	321	-276	預金利息
合 計	1,234,000	1,234,276	-276	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	支出済額	比較残額	摘要
総会費	30,000	1,001	28,999	総会関係費
会議費	20,000	1,001	18,999	役員支部長会費
記念品費	120,000	104,302	15,698	新入会歓迎費
事業費	50,000	40,150	9,850	会報、ハガキ印刷
慶弔費	50,000	-	50,000	香典、お祝い等
雑費	120,000	28,900	91,100	通信費
名簿運営費	-	-	-	サラト契約費
積立金	500,000	400,000	100,000	
学校支援費	300,000	350,985	-50,985	懸垂幕
予備費	44,000	-	44,000	
合 計	1,234,000	926,339	307,661	

令和八年 菊石同窓会予算書

収入合計	1,203,000 円
支出合計	1,203,000 円
差引残高	0 円

収入の部

(単位:円)

科目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘要
繰越金	307,937	328,955	-21,018	
入会金	895,000	905,000	-10,000	179名×五千円
雑収入	63	45	18	預金利息
合 計	1,203,000	1,234,000	-31,000	

支出の部

(単位:円)

科目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘要
総会費	30,000	30,000	-	総会関係費
会議費	20,000	20,000	-	役員支部長会費
記念品費	120,000	120,000	-	新入会歓迎費
事業費	50,000	50,000	-	会報、ハガキ印刷
慶弔費	50,000	50,000	-	香典、お祝い等
雑費	120,000	120,000	-	通信費
名簿運営費	-	-	-	サラト契約費
積立金	450,000	500,000	-50,000	
学校支援費	319,000	300,000	19,000	懸垂幕
予備費	44,000	44,000	-	
合 計	1,203,000	1,234,000	-31,000	

令和七年 菊石同窓会積立金会計決算書

収入合計	5,524,901 円
支出合計	-
差引残高	5,524,901 円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	収入済額	支出済額	差し引き残額	摘要
繰越金	5,122,637	5,122,637	-	-	
積立金	500,000	400,000	-	-100,000	
雑収入	363	2,264	-	-1,901	利息等
合 計	5,623,000	5,524,901	-	-98,099	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	支出済額	比較増減額	摘要
学校支援費	-	-	-	学校支援費

令和八年 菊石同窓会積立金会計予算書

収入合計	5,975,000 円
支出合計	4,000,000 円
差引残高	1,975,000 円

収入の部

(単位:円)

科目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘要
繰越金	5,524,901	5,122,637	402,264	
積立金	450,000	500,000	-50,000	
雑収入	99	363	-264	
合 計	5,975,000	5,623,000	352,000	

支出の部

(単位:円)

科目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘要
学校支援費	-	-	-	
120周年費	4,000,000	-	4,000,000	
予備費	-	-	-	
合 計	4,000,000	-	4,000,000	

令和7年菊石同窓会会計における帳簿および関係書類および関係証票等を監査した結果、その内容は適正に処理してあったことを認めます。

令和7年 12月13日

監査 黒野宗弘
樋口康広
会計 小木曾智哉
大嶋猛

(印)
(印)
(印)
(印)

本年度の定期人事異動の結果は次のとおりです

退職

鬼塚	壁谷	畠	岸本	吉崎	富田	鎌倉	高橋	古澤	林	和田	満岡	樹神	山本	天野	細川	永吉	伊藤	小角	後東	鈴木	長谷川	
慎一 (事務長)	光 (校長)	高志 (実習教員)	悠哉 (事務・主事)	清香 (事務・主事)	新太 (臨時の任用講師)	良美 (臨時の任用教師)	妃由 (任期付任用講師)	達雄 (教諭)	正樹 (教諭)	一哉 (再任用教諭)	稔 (再任用教諭)	孝至 (再任用教諭)	惠美 (再任用教諭)	知美 (事務長)	淳 (校長)	陽日 (実習教員)	弘和 (任期付任用講師)	暁司 (教諭)	玲子 (教諭)	（任期付任用講師）	数則 (教諭)	（教諭）

転入

・旦(臨時の任用講師)

・永吉(教諭)

・伊藤(教諭)

・小角(教諭)

・後東(教諭)

・鈴木(教諭)

・長谷川(教諭)

・伊藤(教諭)

・小角(教諭)

・後東(教諭)

・鈴木(教諭)

◇県大会

・家畜審査競技会 肉牛の部

・平板測量競技会

・農業鑑定競技会

・分野

・農業土木

・オブザーバー一位

・優秀

・造園

・優秀

・優秀

・秀秀

・農業情報処理競技会

・優秀

・優秀

・秀秀

・東海ブロック大会

・オブザーバー一位

・優秀

・秀秀

・プロジェクト発表会

・優秀

・秀秀

・秀秀

部活動

◇高等学校総合体育大会

ボート部 全国大会出場

バドミントン部 分野

団体・男子個人 分野

卓球部 女子個人(2名) 野菜

弓道部 男子個人

◇国民体育大会 女子個人(3名) 優秀

陸上部 男子・女子個人 県大会出場

テニス部 新人体育大会 優秀(二名)

令和七年総会次第

議題

- (1) 令和七年事業報告について
- (2) 会計報告について
- (3) 会計監査報告について
- (4) 令和八年役員人事について
- (5) 事業計画案について
- (6) 予算案について
- (7) その他

菊石同窓会総会

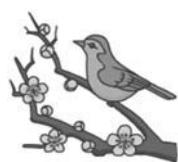
菊石同窓会総会は毎年1月の第4土曜日に開催されます。
猿投農林高校HPにて、総会の案内と会報を掲載していますのでご覧ください。

ホームページ <http://sanagenorin-h/aichi-c.ed.jp/>

記

令和7年総会

- | | | |
|---|----|---------------------------------|
| 1 | 期日 | 令和8年1月24日(土) |
| 2 | 会場 | 母校 図書室 |
| 3 | 日程 | 受付 9:30~10:00
総会 10:00~11:00 |



※感染症などの感染拡大の状況により、予定を変更する場合もありますので、ご理解願います。

令和八年事業計画

1月24日	菊石同窓会総会
3月2日	菊石同窓会入会式
6月	役員会
10月30日	120周年記念事業
12月	役員会

菊石同窓会総会のご案内

令和七年事業報告

1月25日	菊石同窓会総会
3月3日	菊石同窓会入会式
12月13日	役員会

事務局よりお知らせ

事務局ではHP(ホームページ)に会報を掲載することで最新の同窓会事業についてお知らせしています。

事業についてお知らせしています。また、同窓会名簿を令和六年一月に発刊いたしました。(株式会社サラトに業務委託)
偽の名簿発行や名簿利用による悪質な商法、振り込み詐欺などにご注意ください。
ご不明な点がございましたら、事務局へお気軽に問い合わせください。

△〇五六五四五〇六二二
同窓会事務局